

北のわらしべ

《春号》 令和4年4月25日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

不安定な社会情勢の中、春の訪れ、新年度のスタート

理事長 川本 明良

大雪となった大変な冬が過ぎ、札幌わらしべ園の桜の木が開花に備えて芽をふくらませはじめています。札幌にも優しく春らしい風が吹きはじめました。この時期になると、度々、ハンガリー民謡「Tavaszi szél vizet áraszt ; 春の風が水を増やす(直訳)」を思い出して口ずさんでしまいます。

「私の花」という歌詞は「私の大切な人」の意味で比喩的表現。”春になり、鳥たちがペアとなる相手を選ぶように私は誰を選ぶか”という内容の優しい歌詞、静かな曲調です。知人からこの歌は日本民謡と同じ音階だと教えて頂きました。私自身が聞き慣れた印象を持ったのもそのためかも知れません。

春の訪れを喜ぶ優しい民謡を思い浮かべますが、ヨーロッパでは世界を揺るがす大事件が起きました。多くの人々が危惧していたロシア軍によるウクライナ侵攻が2月にはじまり、ウクライナでの恐怖に満ちた惨状が伝えられるようになりました。テレビでは連日、破壊された街や建物、殺害された市民など、目を背けたくなるような酷い映像を目にすることになりました。また、女性や子ども、高齢者を中心にウクライナの人々が難民として隣国に避難をはじめ、既に400万人以上の人々が避難しているそうです。恐怖から逃れた難民を近隣の受け入れ国が支援し、食事や休息の場を提供する様子に心から良かったと思うと同時に、今後の展開と、この人たちのこれからの暮らしを心配に思うのは私だけではないと思います。








(苗穂事業所の桜/昨年)

あふれるウクライナの情報について、私たちが注目しなければならないことが幾つかあります。その中で難民受け入れの際に国境で「白人優先」の対応がなされ、アジア人などが隣国へ避難を求めて入国する際、トラブルが生じているというニュースがあります。ウクライナは物価が安く暮らしやすい国であることからアジア系、アフリカ系の人たちも多く暮らしていたそうです。残念ながらヨーロッパにも白人優先の感覚を持つ人が多くいます。ブルガリア首相が「これまでの難民と異なり、ウクライナ難民は欧州人であり、知的であり、教育を受けた人々」と発言した上で、ウクライナ難民受入を進めることを表明したことや、2015年にシリア難民受入を完全に拒否し続けたハンガリーがウクライナ人難民について許容的態度を示していること等、もちろんウクライナ難民の安全を願います。一方で不安を感じるニュースについては、残念といわざるを得ません。



国連が定めた「誰も取り残されない社会の実現」目標の為には性別、人種や文化、宗教や障がいの有無など、相互の違いを認め合うことが基本だと考えられています。しかし、ウクライナ問題が大きくなると、人種や国籍、利害関係が優先されSDGsの実現にはほど遠い世界に向かっているようにも感じます。それどころか同じスラブ民族でありながら戦いとなったウクライナとロシアの状況、関連する世界の対立の図からは、むしろ相互の違いを強調する「対立の図式」が見えるようにも感じます。

安全が保障されている日本で暮らしながら、これからの社会情勢・国際情勢から生活に今後の不安をもつ人も多いようです。混乱が終結し相互の違いを認め合う新しい時代が訪れ、来年は平和でみんなが「春の風」を心地よく感じるようになって欲しいと願います。

   Tavaszi szél vizet áraszt  /ハンガリー語  

Tavaszi szél vizet áraszt, virágom, virágom. Minden madár társat választ, virágom, virágom.

Hát én immár kit válasszak, virágom, virágom. Te engemet s én tégedet, virágom, virágom.

(春の風が水を増やす/和訳)

春の風が水を増やす, 私の花, 私の花 鳥たちはペアの相手を選ぶ, 私の花, 私の花

さて私は誰を選びましょうか, 私の花, 私の花 あなたは私をそして私はあなたを, 私の花, 私の花

[*virágomは「私の花」という意味です「私の大切な人」を指すそうです。]

大滝だより



大滝わらしべ園

〒052-0313
伊達市大滝区大成町10
Tel 0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail waras@ootaki.tv



(水に絵の具で色付けています)



(上手に入るかな?)



(しっかり凍っています)



(ゆらぐ炎がきれいに)

—20° アイスクャンドル作り

1月のある日、アイスクャンドル作りを行いました。大滝は夜間-20度近くになる時があります。この気候を利用して企画しました。アイスクャンドルは牛乳パックの中に空き缶を固定し、パックと缶の間に色水を入れて作ります。まずはペットボトルに水と好きな色の絵の具を入れて振ります。利用者のみなさんは、水に色がついていく様子や振ったときの音を楽しんでいました。その後色水をパックに入れるのですが、この工程が難しかったようで、勢いよく入れてこぼしてしまったり、空き缶の中に色水が入ってしまったり。職員と一緒に慎重に入れました。全ての牛乳パックに色水を入れ終えた後凍らせるため、みんなで外に設置しに行きました。その後、事前に風船に水を入れて凍らせておいたものを取り出しました。水を入れ凍らせていた風船を持ってくと利用者さん自らはさみを持ってきて意気揚々!!風船を割ってくれました。中から出てきたしずく型の氷にみんな興味津々で、つんつんと指で触ったりしていました。

翌日、アイスクャンドルは完成し、夕の会でアイスクャンドル観賞会を行いました。外にアイスクャンドルを設置して室内から見るようにし、室内の机の上にも数個並べて火をつけました。炎をじっと見つめていたり、息を吹きかけて火を消そうとしたり、キャンドルよりも提供されたココアに夢中だったり?!と様々な反応でした。アイスクャンドルの炎が氷に反射してキラキラ光り、幻想的な夕の会となりました。



(窓の外にはキャンドルの光が)

鬼が登場！節分

2月3日には節分行事を行いました。いつものように朝の会で日付の確認やラジオ体操をしていると、そこに突如、鬼が登場!?驚いた顔で鬼を見る利用者さん、怖かったのか逃げてその場からいなくなる利用者さん、鬼の正体が職員とわかっていてニコニコしている利用者さんなど、様々な反応でした。鬼には皆で豆の代わりにボールを投げ、追い払いました。そうすると逃げていた利用者さんも戻ってきました。その後は鬼のお面をつけ、手作り金棒をもって記念写真を撮りました。鬼と一緒にみんなでチーズ!

その後、節分の日に飲むとされる「福茶」を飲みました。福茶はお湯に梅干しと塩昆布と大豆を入れたもので、慣れない味に顔をしかめる利用者さんも、「もう一杯飲みたいなあ〜」と周りを見渡す方もいたり、みんなの好みが分かれました。

豆まきで邪気を払い、今年も無事に過ごすことができそうです。(特製福茶)



(いきなりの鬼にびっくり!)



(さあ、鬼退治!)

新年度に向けて

長引くコロナ禍でも利用者様が笑顔ある生活を送ることができるよう、行事やレクリエーション等を工夫して行っていきます。



今後の予定

- 4月 園周辺での散歩
- 5月 お花見
- 6月 屋外での食事会
- 7月 七夕、流しそうめん

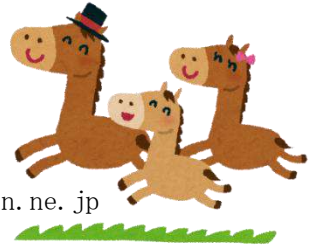


浦河だより



浦河わらしべ園

〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
Tel 0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp



1月新年会を行いました。今年も園内での開催にはなりましたが、みんなで楽しむことができました。上中施設長の開会の挨拶の後、利用者代表と施設長で鏡抜きを行いました。続いて、職員男女混合腕相撲大会を行いました。職員男女混合腕相撲大会では、白熱したバトルに利用者さんの熱い声援で会場は大盛り上がりしました。お食事はいつも新年会でお世話になっている優駿ビレッジアエル様にご協力いただき、特選豪華お弁当を準備しました。特大のお弁当にビックリ「全部食べられるかな？」や「どれから食べよう？」など、皆さん楽しい悩みを見せてくれました。

2月といえば節分。今年は豆を転がして鬼退治レクを行いました。鬼に見せたポールの後ろの点数を競いました。皆さん、手首のスナップが大変うまく高得点が続出となりました。最後に甘酒と雛あられを食べてホット一息つくひとときを過ごしました。

新年会 & 特選豪華弁当 &



節分



(おいしい〜！)



(高得点目指して)

20種類!! 寿司バイキング & 健康祈禱祭



(どれにしようかな〜)

3月、毎年恒例の札幌海鮮丸様の出張寿司職人による寿司バイキングを行いました。毎度、札幌海鮮丸様にはお世話になっております。今年はおかわりネタを昨年より増やし、全部で20種類を準備。利用者さんはずらりと並んだネタをじっくりながめ、どのネタを食べるか？みんな迷ってしまいました。

今年も楽しい春を迎える前に行う施設の大切な行事の一つ、健康祈願祭を行いました。住職様から利用者さん一人一人が健康祈願のお祓いを受けました。入所・通所で施設を利用するみなさん、職員や関係する方々が健康で長寿されること、また地域の安寧を願いました。また、令和3年度に亡くなった利用者さんのご冥福をお祈りしました。圓久寺の古田住職様もから「また、来年皆さんの素敵な笑顔が見られるよう健康で明るく毎日を過ごしてください。」とお話を頂きました。祈禱の後には、祝いの品としてお饅頭が配られ、みなさんでおいしくいただきました。



(住職からお祓いを受けています)

カレンダー作り

毎月の月末に利用者みなさんで食堂に掲示するカレンダーを制作しています。1月はだるま、2月は鬼とおかめ、3月はお雛さまといろいろなテーマで制作しています。カレンダー制作では皆さんの個性が発揮され色々な模様や色使いで素晴らしい作品が出来上がっています。「ここにはあの色じゃないと。」とこだわりのある作品が仕上がっていました。



(きれいな色で作っています)

今後の予定

4月27日にお花見会を行います。それに向け食事メニュー等準備しており、当園敷地内の桜が見ごろになればみなさんで楽しみにしています。

5月には浦河町内の桜まつりも開催予定になっており、花見ドライブ等も行う予定です。

6月からは中庭 BBQ や浦河苺のいちご狩り等暖かくなってくるので感染対策をしつつ外で行う行事を多く予定しています。



札幌わらしべ園

苗穂事業所

苗穂事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

Tel 011-776-7981

FAX 011-776-7982

Mail naebojimu@hotmail.com

昭和だヨ！全員集合！



(昭和だヨ！全員集合！！)

4月9日土曜日は札幌わらしべ園の営業日。土曜日に利用者さん9名全員が出席するのは久しぶりです。この日、苗穂事業所では創作活動、レクリエーションを計画しました。活動の内容は数日前から利用者さんが相談して考えました。テーマは「昭和と昔の遊び」に決定。令和の子供たちの遊びと自分たちが子供の頃に流行っていた遊びを比べたり、男の子(男性)と女の子(女性)の遊びを発表し合うなど、昔を思い出しながら考えました。

みんなの意見で、「花いちもんめ」「かごめかごめ」「しりとりリレー」「バトン回し」に決定！そしてレクリエーションの題名は9名全員が集合した事、昭和をテーマとしている事から「昭和だヨ！全員集合！」とドリフターズの番組を真似て皆さん「いいね！たのしみ！昭和だね～(笑)」

内容を相談する時から土曜日のレクリエーションがとても楽しみになりました。

当日は午前中に創作活動で昭和のおもちゃをテーマに「コマ作り」を行いました。厚紙と爪楊枝とクレヨンだけで昔懐かしいコマの完成。完成したコマに皆さん時間を忘れてくるくる回し、誰が長く回せるかいざ勝負！「おおー！まだ回ってる！」「良く回るねー！」「キレイな模様だね！」とそれぞれのコマの模様や回り方を評価し合いながらみんなで楽しみました。「花いちもんめ」ではチームに分かれ「勝って嬉しい花いちもんめ♪相談しましょう♪そうしましょ！」と歌いながらチームで相談し自分のチームの人数を増やし人数の多い方が勝ち！「かごめかごめ」ではみんなで円になり歌を歌いながら「うしろのしょうめんだあ～れ」と後ろにいる人の声や特徴を聞いて誰かを当てる遊び。「誰？誰？」「〇〇さんだ！」と笑いっぱいゲーム。しりとりリレーでは前回のわらリンピックで好評だったゲーム。チームに分かれてしりとりを行い答えた文字数だけ進んでいい？昔、遊びで流行った「グリコ」に似たゲーム。答える人も歩数を稼ぐ人も必死でアンカー戦では出来るだけ大股で、出来るだけ長い言葉を考え…熱い戦いとなりました☆そして最後のゲーム「バトン回し」では1分間に7週バトンを回すことが出来るか？！というルールに皆さん必死(笑)「はい！」と隣の人にバトンを渡す時には思わず声が出てしまうほど皆さん必死にバトンを回していました。時間をいっぱい使い土曜日のレクリエーションは終了しました。利用者さんも職員も童心にかえって、楽しい土曜日でした。最後は全員で「昭和だヨ！全員集合！」と声を合わせて終わりました☆



(上手に回るかな?)



(かごめ～♪かごめ～♪)



(長い言葉を考え、大股歩き)

春のゴミ拾い



(雪の下からゴミがたくさん)

4月に入り雪解けが進み、暖かくなってきたことから事業所周辺のごみ拾いを行いました☆この日はとても暖かく天気も良く「春だね～」「あったか～い」とみんなで春の訪れを感じながらの清掃です。まだ雪が残っていることから「この雪いつ溶けると思う？」など雪が溶ける日予想などをしながらの作業。ぽかぽかと日向ぼっこをしながらのごみ拾いとなりました。事業所の周りにある桜の木や集めた、たくさんのゴミを見ながら、冬の間、雪に隠れていたゴミをひろい、チューリップの芽をながめながら、長かった冬の終わりを感しました。コロナ感染予防対策を続けながら今年度も楽しく毎日を過ごしたいと話しています。



(ぽかぽか陽気、みんなでゴミ拾い)

札幌わらしべ園 東区・厚別事業所

東区事業所

〒065-0042

札幌市東区本町2条6丁目4-1

TEL 011-783-0606(1階)

011-790-8130(2階)

FAX 011-790-6572(1・2階共通)

Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1階)

Whshuuro01@yahoo.co.jp(2階)

厚別事業所

〒004-0062

札幌市厚別区厚別西2条2丁目1-23

TEL 011-376-0106

FAX 011-376-0140

Mail sawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

東区年度末集会

3月のある日、東区事業所では、今年度の振り返りと次年度も健康で楽しく活動できるように願いを込めて「年度末集会」を行いました。午前中は「手軽にできるスイーツづくり」として、パフェづくりをしました。それぞれ好きなトッピングを行い、自分だけのオリジナルパフェが仕上がりました。おいしく出来上がったパフェに「待ちきれない!」、「早く食べたいね」といった様子の方も!



(おいしい~!)

午後の集会では、写真で振り返る職員制作の「令和3年度」と題したスライドの鑑賞です。「夏祭り」や「ハロウィン」の様子、令和3年度に大滝わらしべ園から札幌わらしべ園に仲間入りした東苗穂ホームの3名の紹介もあり、みんな大歓声!大盛り上がりでした。スライドの中で、この1年(令和3年度)の感想;インタビュー動画もあり、一人一人が、令和3年度の感想を述べている場面もありました。

鑑賞後には今年度の「私の重大ニュース」として、それぞれが頑張ったこと、楽しかったことを発表してくれました。日頃、みんなの前ではなかなかお話しできない方も多いのですが、この日は自ら手を挙げ、「作業、ポスティング頑張りました!」「早くひとり暮らししたいです!」など、みなさんの前で堂々と発表され、それぞれの1年の成果と次年度に向けた抱負が伺え、発表後には盛大な拍手をもらいました。そのあとは、午前中に、ご自身で作成したパフェをおいしくいただきました。食べる前に最後のトッピングとしてバニラアイスに乗せ、さらにおいしそうに完成。

「甘くておいしい~」、「また作りたい!」と声が溢れていました。新しい利用者さんを加えて、コロナ禍を過ごした1年の締めくくりとなりました。

来年度も元気で楽しく活動できることを強く感じる一日でした。



(1年を振り返ってみんなの前で発表)



紙漉き & アート活動

厚別事業所では、紙漉き作業とアート活動に取り組み、創作活動にも力を入れていきました。紙漉き作業では、牛乳パックやティッシュペーパーを使い、たくさんの新しい紙を作りました。ペットボトルの中に千切ったティッシュペーパーを入れて混ぜる制作方法は、全利用者さんが取り組むことができます。制作した紙はハガキにして実際に皆さんの自宅等へ送りました。なかなかの出来栄です。そして、この紙はアート活動の際にも、絵画の用紙としても用いました。

アート活動では前期と同様にモダンテクニック(偶然出来る模様や形)の技法を取り入れています。クリアファイルに絵の具を入れて、ふちをテープで止めて絵の具を伸ばしたり、ファイルをぐちゃぐちゃにして模様になるアートは誰にでも取り組める活動のため、とても好評でした。他に、チラシを丸めて絵の具を叩いて模様を出したり、絵の具のしずくを飛ばしたり、泡と絵の具を混ぜて塗る等の方法など、工夫しながら取り組みました。アート活動を行う際、道具は職員が用意しますが、道具の使い方、色の混ぜ方等は利用者さんの主体的活動です。本人が表現したいことを思いっきり表現してもらえるように心がけています。作品はアールブリュット推進センターGently主催のオンラインアート展「ダレカガナニカヲツクッテル」に出展しました。(2022年3月1日~2022年8月31日まで <http://darekagananikao.net> で公開されています)

来年度は、今までの技法を更に工夫していくことと、さらに多くのアート展などに出展したいと考えています。令和4年度の取り組みにご期待ください。



(ファイルを折って~)

今後の予定 5月 散策(お花見) 6月 ①厚別事業所移転 ②行事食テイクアウト 7月 夏祭り

クローズアップこの活動

通信

～スキー活動～

大滝わらしべ園ではおおたき国際スキーマラソンに参加するため、年明けからスキーの練習をしてきました。去年はコロナウイルス感染拡大の影響でスキーマラソンが開催されなかったため、利用者さんにとって2年ぶりのスキー活動でした。最初のころは戸惑っているように見えてましたが、練習を重ねるうちに表情良く気持ちよさそうに滑るようになりました。また下り坂を滑ることも最初は怖がり時間がかかっていましたが、3月頃には躊躇うことなく滑ることができる様になりました。今年のスキーマラソンもコロナウイルスまん延防止等重点措置の為に直前で中止になってしまい残念でしたが、利用者さんの上達が目に見えたスキー活動でした。来年こそはスキーマラソン練習成果を発揮したいと思います。



(気持ちいい～！)

～水害避難訓練～厚別事業所

今年の冬は嫌というほど雪が降りました。皆様ご無事でしたでしょうか。毎日の雪かきに、あちこちでもうんざりという声が聞かれました。見上げるほど積み上げられた雪山も少しずつ小さくなり、ようやく春らしくなってきました。暖かくなってうれしい反面、これから梅雨の時期に入ると洪水や土砂崩れ等の災害に気をつけなければなりません。北海道に梅雨はないと言われていますが、ここ数年の気候変動を見ると、札幌でも想定外の災害がいつ起こっても不思議ではありません。その為、震災や火災

の避難訓練とは別に、厚別事業所では2月に水害を想定した避難訓練を行いました。今回は、積雪の影響で道路状況が悪かった為、2階への垂直避難と避難場所の確認を実施しました。垂直避難では、独歩の可能な方に声掛けをして自身で階段を上がって頂きました。その他、介助で避難する利用者さんは職員と共に、移動します。事前の想定のとおり、スムーズに移動することが出来ました。皆さんの協力で避難開始からおよそ10分で全員の避難が完了しました。その後、全員で訓練の反省と避難所の確認を行いました。避難所の確認は、地図を見ながら避難所の場所と経路の確認を行いました。備えあれば憂いなし。いざというときの為に、引き続き定期的な訓練と避難計画の見直しにも取り組みたいと思います。6月と11月に **おさない かけない しやべらない もどらない ちがやらない** 震災・火災の避難訓練、2月に水害の避難訓練を実施する予定です。



グループホーム シェアハウス

グループホーム・

シェアハウス

感染予防と例年にない大雪のため、思うように外出できない日々が続いていました。そのような中、先日、雪解けもずいぶん進んだので、体力づくりも兼ねて、感染対策のマスクを装着し、十分に気を付けながらみんなで散歩をしました。天気にも恵まれ、久々の外出にテンションもかなり上がっていました。いろいろな景色を見ながら歩く道中は驚きや発見の連続でした。ここにこんな店がある、こっちはどこにつながるのかな？等々。途中、おやつを購入し、1時間ほどかけて帰ってきました。さすがにその日は疲れたのか、皆さん、夜もぐっすり眠られました。少し肌寒く、春を感じるにはまだ少し早かったようですが？大満足の外出となりました。



わらしべ会創設者 村井正直先生・村井陽子先生記念研修会



村井正直先生・村井陽子先生

今年にはわらしべ会創設者村井正直先生・村井陽子先生13回忌にあたります。北海道法人と大阪法人の交流は、これまで10年以上も途絶えていましたが大阪辻理事長と協議の上で、再開することとしました。スタートにあたる令和4年度は、お二人への感謝の気持ちを共有することを目的として「村井正直先生・村井陽子先生記念わらしべ職員交流会」の開催を計画しています。10月は札幌開催の研修会、そして12月は大阪開催の予定です。協力して活動します。



大阪法人との研修等については、「北のわらしべ」紙面で報告します。

令和4年度 わらしべ会（北海道）事業計画／抜粋

社会福祉法人わらしべ会（北海道）をご支援いただく皆様のお力添えで、新しい年度をむかえました。本年度は事業所の移転や事業の再編、新規事業の準備、運営の安定に向けた取り組みの他、国が定めた利用者の虐待防止に向けた取り組みなど、取り組むべき課題山積です。また本年度は新たな法人の中期事業計画策定の予定です。

- 1) 大滝わらしべ園の施設運営継続について検討
 - ・施設運営の継続を目指して施設のあり方を検討します。（令和5年度まで継続）
- 2) 札幌日中事業所の統廃合/事業改編
 - ・苗穂第事業所の独立事業化（従たる事業所より事業変更）を実施します。
- 3) 虐待防止および障がい利用者の権利擁護関連の取り組み
 - ・法人、各施設に「虐待防止委員会」を設置「虐待防止体制」を整備します。
 - ・虐待防止、権利擁護に関する研修、職員の自己評価を実施し、この課題を施設・事業所および、法人全体の取り組みとします。
- 4) 大阪法人（わらしべ会[大阪]）との協力
 - ・本年度より大阪法人との協力を再開します。
 - ・創設者13回忌にあたり「村井正直先生、陽子先生記念職員研修会」を開催します。

お知らせ

厚別事業所は6月1日より

下記に移転します。

札幌わらしべ園苗穂事業所

札幌市東区苗穂町3丁目2-37

春の風を楽しみ、春をはこぶ、春の風♪／ペットゥ研究所子ども達

春になると、子ども達のグループでは”春の風♪”（*1面）を歌うことが多くなります。イースター休暇を楽しみにしている子ども達は、休暇中の予定やイースターのご馳走についての話題で楽しそうです（学生達は約1ヶ月後にひかえた実習試験や教科試験など夏休み前の過酷な期間までの、しばしの休息期間）そして、ハンガリーではイースターに男性が女性に水をかける楽しい習慣があります。子ども達のグループではこれにちなんだ詩と少量の水や香水を好きな女の子にかけたりします。いたずら好きな男の子は、グループの女の子だけでなく、女性職員や女性学生に香水や少量の水をかけて回って、みんなを喜ばせていました。（楽しいイースターの習慣についてはまた別の機会に！）



総選挙大勝；オルバン政権継続のハンガリー

ハンガリーでは、ロシアによる進行を受けた歴史からウクライナに同情的な意見が多いようですが、EU参加国でNATO加盟国でありながら親ロシア政策をとるオルバン政権はLGBTを否定する法案や右寄り政策から「ハンガリーのプーチン」と野党から揶揄されているそうです。4月3日の総選挙でオルバン首相率いる右派連合が大勝しました。批判も多いようですが、国民の支持を得ていることも事実のようです。



（ハンガリー第一主義；オルバン首相）



（世界一美しい？国会議事堂）

お知らせ

❀ありがとうございました❀

順不同にてご紹介

ご寄附・ご寄贈頂きました。

平崎 京子 様 女池 好子 様 高橋 節子 様
 鈴木 美菜子 様 近藤 寿美子 様
 浦河地方法人会浦河支部 様 株式会社武田電気 様
 公益社団法人 24時間テレビチャリティー委員会 様
 皆様の温かなご支援ありがとうございました。

継続します、コロナ感染対策

過去、2年間にわたって「コロナ感染」が私たちの最大の関心事であり、話題であったように思います。残念ながら現在もコロナ感染が収束したといえる状況になく、コロナ感染に対する恐怖は続いていますから、各面での自粛は継続せざるを得ません。コロナ社会の少しでも早い収束を願っています。

行事表

		大 滝		浦 河		札 幌		法 人	
4 月	未定	園周辺での散歩	27 日 (水)	お花見会	9 日 (土)	土曜営業日		5 日 (火)	運営者会議
					14 日 (木)	タッピー体操／介護予防体操／苗穂			
					28 日 (木)	タッピー体操／介護予防体操／苗穂			
5 月	未定	お花見	未定	桜まつり	7 日 (土)	土曜営業日		24 日 (火)	監事監査
					12 日 (木)	タッピー体操／介護予防体操／苗穂		25 日 (水)	理事会
			未定	花見ドライブ	26 日 (木)	タッピー体操／介護予防体操／苗穂		未定	顧問税理士 会計指導
					未定	散策 (お花見) / 東区			
6 月	未定	屋外での食事会	上旬	東部小学校運動会参加	1 日 (水)	苗穂事業所開始 (厚別事業所移転)		7 日 (火)	運営者会議
			16 日 (木)	中庭 BBQ	21 日 (火)	俳句会／苗穂		11 日 (土)	評議員会
			下旬	いちご狩り・ドライブ	未定	行事食テイクアウト / 東区			
7 月	未定	七夕	上旬	ドライブ	未定	夏まつり / 東区・苗穂			
	未定	流しそうめん	30 日 (土)、 31 日 (日)	馬フェス見学					

編集職員一同



(降雪後公用車の救出も大変)



(2階にとどく雪山)

コロナ、降雪と大変な冬でしたから、春の訪れをとっても嬉しく感じます。令和4年度もよろしくお願い申し上げます。

北海道は12月末から2月にかけて経験したことの無いような大雪となりの除雪はもろろん、想定を超える大雪により除雪が追いつかず、ひどい交通渋滞が続きました。4月になり少しずつ暖かくなつて、道路の雪はなくなりましたが、まだあちこちに除雪の際にまめた雪山が残っているのを見かけます。

編集後記